

WHO / 笹川医学奖学金 日语试题集

(1979—1987)

鞠兴富 等 编

人 民 卫 生 出 版 社

WHO/笹川医学奖学金 日语试题集

(1979—1987)

鞠兴富	吴素英	编
刘震宇	吴宣刚	

人 民 卫 生 出 版 社

WHO/笹川医学奖学金日语试题集

陶兴霞 等编

人民卫生出版社出版

(北京市崇文区天坛西里10号)

北京市卫顺排版厂印刷

新华书店北京发行所发行

850×1168毫米32开本 27/8印张 72千字

1989年2月第1版 1989年2月第1版第1次印刷

印数: 00,001—1,800

ISBN 7-117-00704-4/R·705 定价: 1.60元

〔科技新书目 176—172〕

前 言

根据逐年增多的应试者的需要，现将1979年—1987年间WHO／笹川医学奖学金日语试题汇集成册，并将主要试题参考答案附后，供有关人员参考。

许多应试者提出：从语言角度来看，准备到什么程度去参加考试才比较有把握？我们认为：1. 语音、语调基本正确；2. 熟练地掌握五千个单词；3. 掌握最低限度的语法知识，例如对一个句子能够断句、还原、进行构词法分析、确定句子成分、找清各成分之间的关系、明确陈述方式等；4. 具有较好的听说能力；5. 具有一定的日汉互译的能力。

应试者还提出：为了应试，学习哪些教材为好？我们根据前五次命题时的经验，认为以下几种教材可供学习使用：

1. 日本语Ⅰ、Ⅱ，东京外国语大学附属日本语学校编。亦可采用与此程度相当的教材：大学日语，上册、下册，长春市吉林教育出版社，1987年版。

2. 医学日语阶梯读本，吴宣刚、栾开翔合编，北京人民卫生出版社，1986年版。

3. 日语，高等医药院校用教材，第一册第二版，吴宣刚编，北京人民卫生出版社，1984年版。

4. 日语，高等医药院校用教材，第二册第二版，鞠兴富编，北京人民卫生出版社，1984年版。

5. 日语，高等医药院校用教材，第三册第二版，路殿卿编，北京人民卫生出版社，1985年版。

编 者

1988年元月

目 录

前 言

试题部分

1979年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題	1
1979年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト	5
1979年WHO奨学金人員日本語口頭試問A	6
1979年WHO奨学金人員日本語口頭試問B	7
1979年WHO奨学金人員日本語口頭試問の問い	7
1981年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題	9
1981年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト	17
1981年WHO奨学金人員日本語口頭試問A	20
1981年WHO奨学金人員日本語口頭試問B	20
1981年WHO奨学金人員日本語口頭試問の問い	21
1983年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題	22
1983年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト	31
1983年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト答案用紙	33
1983年WHO奨学金人員日本語口頭試問A	34
1983年WHO奨学金人員日本語口頭試問B	35
1983年WHO奨学金人員日本語口頭試問の問い	36
1985年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題	36
1985年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト	47
1985年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト答案用紙	49
1987年WHO/笹川医学奨学金人員日本語筆記試験問題	50
1987年WHO/笹川医学奨学金人員日本語ヒアリングテスト	59
1987年WHO/笹川医学奨学金人員日本語ヒアリングテスト答案用紙	66

答案部分

1979年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題参考答案	68
1981年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題参考答案	70
1983年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題参考答案	73

1983年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト参考答 案	76
1985年WHO奨学金人員日本語筆記試験問題参考答 案	77
1985年WHO奨学金人員日本語ヒアリングテスト参考答 案	80
1987年WHO/笹川医学奨学金人員日本語筆記試験問題参考答 案	82
1987年WHO/笹川医学奨学金人員日本語ヒア リングテスト参考答 案	85

1979年WHO奨学金人員 日本語筆記試験問題

一、次の漢字にふりがなをつけなさい。(0.25×20 = 5)

- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1. 病原体 | 2. 機能異常 | 3. 測る | 4. 自律神経 |
| 5. 天然痘 | 6. 内分泌腺 | 7. 誤る | 8. 外科的治療 |
| 9. 不眠症 | 10. 悪性腫瘍 | 11. 患う | 12. 予防注射 |
| 13. 傷口 | 14. 自然治癒 | 15. 営む | 16. 正常心電図 |
| 17. 役割 | 18. 壊死 | 19. 全く | 20. 発作 |

二、次の文中の () にそのことばの常用漢字を書き入れなさい。(0.25×20 = 5)

1. 血液が体内をじゅんかん () するのはしんぞう () の働きによるのです。
2. 寒いきせつ () に多い病気はかせ () です。
3. この二、三日からだ () のちょうし () がよくない。
4. バクテリアが人体にしんにゅう () すると、かんせんしょう () を起こします。
5. 皮膚けっかん () がかくちょう () すると、赤くなる。
6. ねつ () が高いので、氷であたま () を冷やしました。
7. 昔から「やまい () はくち () から」といわれている。
8. 一回のはいべんりょう () の少ないことも赤痢の大きなとくちょう () といえる。
9. 私たちがはな () の匂いを感じることでできるのははな () の働きによるのだ。

10. はついく（ ）の状態や病気があるかないかなどを調べるのに学校ではていきけんこうしんだん（ ）を行っている。

三、次の文中の__に適当なかなを一つずつ書き入れなさい。

(0.25×20=5)

1. レントゲン検査__発病したものを早く発見すること__できるようになりました。
2. 抵抗力__強い人は、一般に感染されにくい。
3. 日光消毒はばい菌__防ぐ一つ__方法です。
4. 体__弱いので、少し動く__すぐ疲れてしまいます。
5. コレラなど__かかった人は周囲の人々__感染源になる危険__ある。
6. 医者は患者を治療する前__まず不安__取り除くようにする。
7. 白血球は血液中__まぎれこんできた細菌__とらえて殺します。
8. ばい菌はとても小さく__肉眼__見えません。
9. 病因__解明されたら、治療__大きな意義がある。
10. 病院へ行きがてら郵便局__寄って電報__打ちました。

四、次の文中の（ ）に慣用語を書き入れなさい。(0.5×10=5)

1. 手術は早ければ早い（ ）よい。
2. 暗い所で字を書いたり本を読ん（ ）しては目によくない。
3. 患者は非常に弱いから、今手術するわけには（ ）。
4. リウマチは必ずしも季節に関係があるとは（ ）。
5. 手術の安全を計るためには輸血はかくことの（ ）ものです。
6. サルファ剤は一日に三回、一回に三錠（ ）服用してください。
7. 診察してからでないと、予後がいいか悪いか（ ）。
8. 薬物麻酔（ ）ハリ麻酔の方は長所が多い。

9. 残念（ ）ガンの正体についてはいまだはっきりと解っていない。
10. 大脳皮質には約140億の細胞がある。精密に作られたコンピューターでも、その十分の一くらいの能力（ ）発揮できないという。

五、文中の（ ）にイ、ロ、ハから選んで記入しなさい。(0.5 × 4 = 2)

例: 手術は（ ロ ）終わるよ。

イ. まず ロ. すぐ ハ. もう

1. 不注意で怪我した。（ ）病院に送られた。
イ. そこで ロ. ところで ハ. やっと
2. 酒とタバコは（ ）止められないものですか。
イ. なかなか ロ. たいへん ハ. あまり
3. かぜが原因で重い病気になることがあるから（ ）油断できない。
イ. きっと ロ. かならず ハ. 決して
4. 軽い病気でもまずお医者さんにみて（ ）方がいい。
イ. くれる ロ. いただく ハ. くださる

六、文中の誤りを例のように正しなさい。(1 × 8 = 8)

例: あの人にさっき帰ってしまいます。あの人に→は、います→した

1. 患者をできるだけ日常生活に近く環境で置きます。
2. 病気がかかっても薬を飲めば、すぐ治りました。
3. 昨日友達と二人が病院へ見舞いに行きましょう。
4. 妹は将来ナースがなりそうとおもっています。
5. 小さい頃よりよく湿疹ができて皮膚科のお医者さんに通っているんです。
6. 全身のリンパ腺がはれているので、手術も放射線がだめ、薬に頼るだけない。
7. 採血で取った血液は当日中に使用したことを原則とします。

8.「日の当たる所には病気がある」と昔までいわれています。

七、与えたコトバを例のように文に組み立てなさい。(1×5=5)

例:「明るい この 広くて 病室は」→この病室は広くて明るい。

1. 医学の ものが 最近の 目覚ましい ある 進歩には
2. 注意を 薬は 起こす という ショックを ペニシリン 要する ことがあるから
3. 患者の 患者に わかった 自分が 初めて 気持ち が なって
4. ガンも 病気 治らない ではないと でしょう や がては 言える
5. 健康を 規則正しく 一日を 体の 生活することが 保つには 必要です

八、次の文を中国語に訳しなさい。(2×5=10)

1. ふつうのときでも汗はでますが、体表に出るがはやいか蒸発してしまうので、目立たないだけのことです。
2. 生まれたばかりの赤ちゃんは、目もみえず、耳もきこえず、皮膚の感覚もほとんどないといわれています。
3. ガンほどおそれ、きらわれている病気はないでしょう。
4. 将来悪くなった内蔵をかんたんにとりかえられる時代がくるかもしれません。
5. 義歯はほんものとみた目では変わらないばかりか、はたらきの上でもほとんど差がないくらいです。

九、次の文を日本語に訳しなさい。(1×5=5)

1. 水果含有大量维生素丙。
2. 拍了X光片子，但是好象哪里也没有什么毛病。
3. 心脏的听诊必须在肃静的房间里仔细地进行。
4. 瘦人未必身体都软弱。
5. 疾病有的是生来就有的，但是也有不少是由于我们不注

意，或不讲卫生而得的。

1979年WHO奨学金人員日 本語ヒアリングテスト

ヒアリングのやり方と時間、採点：文章を第一回は4分で読み、きかせるだけ、第二回は16分で見、書かせ、第三回は5分で読み、5分調べさせる時間を与える。ヒアリングは15点、第一段だけ翻訳させて、5点。

栄養の秋

- 一、皆さん、空気も澄み、温度も低くなってさわやかな秋となりました。この間までは暑さで食欲が減退し、あっさりしたものを多くとっていた私達は、知らず知らずのうちに体力を消耗してきたのですが、涼しい空気の乾燥した秋になるとだんだん元気を回復して参ります。夏の疲労をさり健康を取り戻すためには、毎日栄養を十分にとることが必要です。高価なものすなわち栄養あるものとはかぎりません。豆腐などは比較的廉価で、たんぱく質の含有量も多いのですから、料理の方法次第で栄養も食欲も十分満たしてくれます。
- 二、秋はまた灯火親しむべきときです。毎夜勉強に励んでおられる方々の頭の働きをよくするためにも、秋は大切な栄養の摂取時期です。脳細胞に栄養と活力をつけるために必要なものは、たんぱく質が分解されてできるアミノ酸という成分です。その外、牛乳、卵黄、豆類、さつまいもや肝臓などは頭脳の働きをよくするビタミンを含んでいますから、このような食品を組み合わせで献立を考えましょう。
- 三、受験勉強中はどうしても睡眠時間が少なくなりがちですから、一回の食事量はあまり多くとらぬようにし、頭の方に血液がよく行くようにしないと眠気が襲ってきます。
秋は野菜や果物の多い時です。アルカリ性の無機塩類が多

いので、魚の肉や殻類の酸性を中和し、皮膚を保つうえにも大切な食品です。年配の方、特に高血圧の方は脂肪の多い魚や肉類を避け、野菜を十分とることが肝要です。

1979年WHO奨学金人員 日本語口頭試問 A

次の文章を朗読してください。

呼 吸

呼吸とは酸素をすって、二酸化炭素を吐き出すことです。血液と空気との間のガス交換はふき状に集まっている無数の肺胞と呼ばれている所で行われます。肺胞の総表面積はほぼバレーボールコートの中半くらいもあるといっているので、ガス交換には充分ですが、しかし、いかに肺胞の表面積が広くても吸い込んだ空気の中の酸素全部を血液の中にとりいれてしまうわけにはいきません。吸う空気の中、酸素の量は約25%ありますが、吐く息の中には約16%の酸素がふくまれています。その差が血液の中にとりいれられているわけです。

血液は体中をめぐり、肺胞でとりいれた酸素を組織細胞に渡し、細胞から二酸化炭素をとりいれます。いわばここで血液と細胞との間のガス交換が行われるのです。組織細胞はとりいれた酸素で糖類を酸化し、出したエネルギーでいろいろな仕事をするわけで、酸化の最終生成物の一つは二酸化炭素です。

高等な生物にとって酸素はぜひとも必要なものです。とりわけ脳の中にある神経細胞は、特に酸素に対する需要が強い。正常の体温のとき、酸素の補給が2～3分以上全面的にとまると、もはやそれに耐えきれず、障害を起こしてしまいます。体温が低いときは物質代謝の速度がにぶり、組織は酸素の不足に多少なら耐えることができます。

1979年WHO奨学金人員 日本語口頭試問 B

次の文章を朗読してください。

リンパ系

体内の生きた細胞は、すべてリンパ液にひたされている。血液から補給される栄養物質はリンパを通過して細胞内にはいる。リンパ管は体組織から液を運びさる。リンパ管はまた体の感染防禦面においても重要な役割をはたしている。全身にわたって分布するリンパ節は、いわば小要塞で、循環リンパによって、ここに細菌や異物が集められ、処理をまつことになる。感染がひどい場合にはリンパ節がはれて痛む。感染物質はリンパ球によって包みこまれ食べられてしまう。リンパ球はまた抗体を作ることもできる。

脾臓はリンパ系の一部で、血液を貯蔵するばかりでなく、抗体を作り、リンパ節と同じようにリンパのろ過を行う。

ガン細胞はリンパ系内を循環することがある。したがって、医者がガンを切除する際に腫瘍のある汚物処理域のリンパ節も切除するのが普通である。もし、これをおこたると、二次腫瘍の形成あるいは転移をまねく場合もある。

腸内のリンパ管は脂肪を吸収し、これを血管に送る役目をはたしている。脂肪滴は、塩類やほかの可溶性物質とは異なり、ひじょうに大きいので、毛細管壁を直接通り抜けることはできないが、リンパによって摂取することができる。

1979年WHO奨学金人員日本語 口頭試問の問い

共通問題（この中からいくつかをお聞きください）

1. お名前はなんとおっしゃいますか。
2. 今年おいくつですか。
3. いつ、どこのを学校を卒業したのですか。
4. ご専攻はなんですか。今どんな仕事をしていますか。
5. 今日は何月何日何曜日ですか。昨日は。
6. 日本語はどこで、どのようにしてなりましたか。
7. 日本語の雑誌や本などが読めますか。
8. 日本語で通訳できますか。翻訳の経験はありますか。
9. 今度の試験を受けるために、どのように準備しましたか。
10. 最近になにか重要なニュースがありましたか。話してみてください。

口頭試問Aの問い

1. 呼吸とはどんなことですか。
2. 普通の呼吸で空気から血液にとりいれうる酸素の量はどれほどですか。
3. 生物体はなぜ酸素が必要ですか。
4. 血液と空気間のガス交換と血液と細胞間のガス交換とは、どちらがいますか。
5. 酸素の需要量と体温は、どんな関係がありますか。

口頭試問Bの問い

1. リンパ節はなぜ小要塞とも呼ばれていますか。
2. リンパ系の役割をまとめてごらんください。
3. 脾臓の働きは何ですか。
4. 脂肪滴はどんな経路で吸収されますか。
5. ガンを切除する場合、なぜ所属リンパ節をも切除しなければなりませんか。

1981年WHO奨学金人員日本語 筆記試験問題

一、次の漢字にふりがなをつけなさい。(0.25×20=5)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 血液循環 | 2. 硬い | 3. 頭蓋骨 |
| 4. 癒合 | 5. 悪心 | 6. 食欲不振 |
| 7. 確か | 8. 試みる | 9. 解熱 |
| 10. 輸血 | 11. 新陳代謝 | 12. 暫く |
| 13. 夜尿症 | 14. 睡眠 | 15. 発作 |
| 16. 視力減退 | 17. 虫歯 | 18. 小児科 |
| 19. 脚気 | 20. 壞疽 | |

二、次の文中の()にそのことばの常用漢字を書き入れなさい。(0.5×10=5)

- 昔からやまい()はくち()より入ると言われている。
- よぼう()の一銭はちりょう()の百円に勝る。
- 皮膚は体の表面を覆うて、これを保護するのみならず、たいおん()の調節を営むにやくだ()つ。
- 風邪のしょき()に安静をたも()つことは軽くすまず秘訣である。
- ハシカは一生に一度はかかる非常にでんせんりょく()の強いしっかん()である。
- へいきんじゅみょう()が長くなると、より健康になることがたいせつ()になります。
- 1975年の春、スイスのルガノでせかいほけんきこう()後援でこくさいろうじんびょう()シンポジウムが開かれた。
- 誰でもしんしん()共に健全で、幸せな生活がい

とな（ ）まれるように願っている。

9. 子供たちにかいちゅう（ ）がいる かい ないかは、ふんべん（ ）の検査をうければ、大概わかる。
10. 日本では肝臓病で病院を訪れる人は、一年間に約50万人といわれている。これは二千人に一人のわり（ ）で肝臓病にかかっているということで、かなりのこうりつ（ ）です。

三、次の文中の○に適切な助詞を書き入れなさい。(0.25×20=5)

1. よく知られているように、糖尿病とは尿○糖が出○、血液中の糖がふえる病気です。
2. 人間が生きて行くために、欠くことのできないエネルギー源となる蛋白質、脂肪、含水炭素○三大栄養素○いいます。
3. 野菜は繊維の多く含まれたものをとります○、機械的に腸が刺激され、腸の働き○活発にさせえます。
4. 一口に便秘といっても原因や症状○よって、いくつか○種類にわけることができる。
5. 抗ガン剤○用いている人では、その副作用として白血球の減少○みられる。
6. 血液の中の赤血球は蛋白質○○なっていて、その蛋白質をつくるのがアミノ酸である。アミノ酸○○生命の根源である。
7. 呼吸運動は生命○維持するのに絶対に必要な機能であるから、これがさしさわりを受ける時には、せいめい○おびやかされていることになる。
8. 睡眠は就寝○○目覚めるとき○○、初めの一、二時間が最も深く、その後は浅い眠りで経過するのが普通である。
9. アレルギーというの○、簡単にいうと、外部から特定

のものが入って来ると、それに対して体が過剰に防衛してしまい、じんましん○湿疹などが起こることをいいます。

10. ガン細胞は、もともと正常な細胞と同じものであるから、これ○○を退治するということはむずかしく、ガンを治そうとすると、どうしても正常細胞○○もダメにしてしまう。

四、内のことばを選んで文中の（ ）にその番号を書き入れなさい。(0.25×20=5)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. できるならば | 2. であろうか |
| 3. 望ましい | 4. ではない |
| 5. 理解できない | 6. むずかしい |
| 7. 吞ませる | 8. 際して |
| 9. 苦しんでいる | 10. 注意として |
| 11. 何よりの | 12. 大切な |
| 13. からといって | 14. ほうがよい |
| 15. ようです | 16. よりは |
| 17. たいする | 18. 知る |
| 19. はず | 20. 望む |

1. 体が悪い（ ）薬を飲む人が多いのですが、病気がわからずに、ただ薬を飲むのは、決して正しいこと（ ）。
2. 薬を与える時の（ ）は、正確な時間に正しい分量を間違わないように（ ）ことである。
3. 細胞の老化を防ぐことが（ ）、われわれはいつまでも若さを保ちうる（ ）である。
4. 作業を続けていると疲労し、作業能率が低下するので、適当な休憩をとることが必要である。一時に長くとる（ ）、いくつか区切って度度とる（ ）。
5. 血圧は固定したものでなく、多くの環境因子によって